

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢 隆宏
		全体計画				経費区分		-		内線	3115
事務事業名	11942 行政評価推進事業										
所 属	050100 総務部・総務課										
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費									
	事業	090000 行政評価推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
総合計画の進行管理 総合計画に掲げた事業の目的、目標、実績を確認し、「何の目的で、何を目標にして、お金をいくら使って、何をするのか」、「成果はどの程度で、改善すべき点はどこなのか」などについて評価分析を行う						「行政評価」は、担当課による「事務事業評価」と、市民による「外部評価」により評価し、市民福祉の一層の向上、職員の意識改革、政策形成能力の向上及び行政の説明責任の明確化を図る。 財務会計システムに行政評価の機能を平成25年度より追加し、「実施計画」「予算」「決算」「評価」を連動させることにより、行政運営のPDCAサイクルを機能させる。また、その事務作業に係る職員の負担軽減を図ることが可能となった。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
総合計画の進行管理のための事務事業評価の実施 334事務事業に対して評価を実施-現状継続 173、拡大継続 76、効率化継続 72、縮小継続 6、統合・終了 7 外部評価員が13件について事務事業評価内容の確認	行政評価の実施 334事務事業に対して評価を実施-現状継続 237、簡易な改善 51、進め方の改善 37、抜本的見直し 4、統合・終了 2 外部評価員が13件について事務事業評価内容の確認
平成24年度 実績	平成25年度 実績
行政評価の実施 344事務事業に対して評価を実施-総合計画に沿って継続 251、簡易な改善 44、進め方の改善 30、抜本的見直し 5、統合・終了 3 外部評価員による13件について事務事業評価内容のチェック	行政評価システムと財務会計システムの連動作業 47事務事業に対して評価を実施(評価事務負担軽減)-総合計画に沿って継続 36、簡易な改善 8、進め方の改善 1、統合・終了 1 有識者を加えた外部評価により、15件について評価
平成26年度 実績	平成27年度 予定
行政評価システムと財務会計システムの連動による評価業務負担の軽減 243事務事業の評価を実施-継続173、簡易な改善33、進め方の改善28、抜本的見直し1、統合・終了8 有識者を加えた外部評価、9件について評価	「実施計画」「予算」「決算」と連動した行政評価を実施 行政評価を活用した事務事業の見直し実施

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		1,533	1,535
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,533	1,535
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	1,371.6
	嘱託職員	272.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	958.3	1,371.6
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,491.3	2,906.6

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	134	外部評価員謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,399	行政評価システム使用料、外部評価員費用弁償

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	130	外部評価員謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,405	行政評価システム使用料1,389、外部評価員費用弁償16

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	目標達成、財源の有効活用、効率的効果的な事業推進のためにも、事業の実績と計画を可視化し、評価することは必要である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	「PDCAサイクル」を機能させるため制度上行っているが、C（チェック、確認）機能としては評価書を作成しているだけの面もあり、A（アクション、改善）としての活用に至っていない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	平成26年度より財務会計システムにより、実施計画、予算・決算、行政評価と連動させ、担当部署の作業負担軽減を図ることはできた。行政評価を活用した業務改善、事務事業見直しにつながる業務推進、組織体制としていきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

システムとして作業連動ができたので、データを有効活用するためにも、評価内容を次年度予算編成に活かせるよう、担当部署と総務、財政、政策など関係部署とのヒアリングを行い、事業見直しの基礎データとして活用していく（実効性ある「PDCAサイクル」の実践）。

